

議会
だより

ふくしま

第141号

令和6年2月1日発行
福島町議会

(題字：福島小学校 1年 おかさゆみさん)

第6次総合計画策定調査終了

これからの福島町をつくる



議会HP



ここがききたい！

● 一般質問 (12月会議)

4

ページ

11月に8件の調査をしました

● 常任委員会レポート

13

ページ

議員とお話してみませんか？

● 町民と議員との懇談会

17

ページ

ふくしま

1年 あべゆなさん

ふくしま

1年 ありえことみさん

ふくしま

1年 いしおか いっせいさん

ふくしま

1年 さかぐち とうまさん

小中学校・福祉センターの エアコン購入費用を補正

定例会12月会議は12月12日に開会、議案9件、
発委1件を審議し、いずれも原案通り可決、同日
に休会しました。参画者は3名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会

12月会議

条例の制定

浄化槽事業の設置等条例

国の要請により、浄化槽会
計を公営企業会計に移行しま
す。

常任委員会で
調査しました



条例の一部改正

選挙公報発行条例の一部改正

無投票選挙でも、選挙公報
を町HPに限り掲載できるよ
うになりました。

選挙公報



議員間討議が
ありました



討議内容

- ・改正は議員の総意ではない
- ・多くの議員は賛成していた

特定教育・保育施設、特定
地域型保育事業の運営基準
条例の一部改正

国の法改正による関係規定
の改正、文言整理を行いまし
た。

国民健康保険税条例の一部
改正

国の法改正により、出産被
保険者の保険税を産前産後の
一定期間分軽減します。

産業振興資金貸付条例の一
部改正

水産加工業の経営基盤安定
化のため、金融機関への預託
金を増額し、融資枠を拡大、
新たに保証料を補給します。

資金の使い方や業
者の状況を確認し
ているかなど質問・
意見交換しました



補正予算

一般会計補正予算(第7号)

● 社会保障税番号制度シス
テム整備費

マイナンバーカードへ氏名
等のふりがな・ローマ字表記
を行う関係システム整備のた
め
864万1千円追加

● 福祉センター冷房設備設
置事業費

天吊り型エアコン2台(音
楽室、図書室)、窓枠エアコ
ン7台(研修室、和室、老人
室)購入のため
400万円追加

● 低所得者世帯者支援給付
金給付事業費

物価高騰の負担が大きい住
民税非課税世帯の負担軽減を
図るため、1世帯あたり7万
円を支給
6千460万円追加

● **小学校冷房設備設置事業費**
壁かけ型エアコン5台（福島3台、吉岡2台）、窓枠エアコン27台購入のため
648万円追加

● **中学校冷房設備設置事業費**
壁かけ型エアコン3台（職員室、保健室）、窓枠エアコン11台購入のため
355万8千円追加

※窓枠エアコンは各学校の教室に2台ずつ設置予定

エアコンの違いって何？
部屋の広さや目的に合わせて4つの型式で計画。
天吊り 38畳
壁かけ① 26畳
壁かけ② 17畳
窓枠 8畳

エアコンの違いを質問しました



国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

● **特別調整交付金償還金**

交付金の額の確定に伴い返還が生じたため
882万8千円追加

● **療養給付費等交付金償還金**

交付金の額の確定に伴い返還が生じたため
319万5千円追加

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の 予算総額
一 般 会 計（第7号）	121,484	5,643,270
国民健康保険 特 別 会 計（第4号）	12,023	769,486

定住自立圏形成協定の締結

連携する項目の追加等により協定を変更締結。

定住自立圏形成協定って？

中心市と近隣市町村が安心して暮らせる地域を作るために協力する仕組み。

福島町は函館市を中心市として、ドクターヘリの運行等に取り組んでいます。費用は令和4年度実績で863万6千円（関連事業合計）

費用などを質問しました



工事契約の議決更正

定住向け町有住宅（2号棟）建築主体工事請負契約の議決更正

高断熱・高気密化仕様にしたことで工事費が429千円増加したため、議決済の工事請負契約を更正。

議会からの提出議案

意見書の提出

● **刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書**

選 挙

選挙管理委員・補充員の選挙

現委員等の任期が令和6年1月6日で満了となることから選挙を実施しました。当選者は次のとおりです。

任期…令和6年1月7日～令和10年1月6日

○委員

丁子谷雅男

澤田 勝男

野坂 禎子

江口 温志

○補充員

石倉 正史

石岡 裕子

阿部 憲一

金谷由美子

議員が聞きました
町の“いま”と“これから”
一般質問



12月会議では3人の議員から3件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

オープンキャンパスで高校の魅力化にはドローンも含まれていると感じました。ドローンサッカーについて教育長に伺います。

- 1 指導者はどうするのか
- 2 一人一台のドローンの提供を検討しては
- 3 高校を応援するふるさと納税等の考えは
- 4 2025年にはワールドカップが予定され、国内でも選手の育成が始まっているが、**同好会・部活動として育成する考えは**

動画は
こちら



教育

問

ドローンサッカーを
強力に推進してはどうか

答

D X 体験授業の中で推進する

小野寺教育長

- 1 **福島商業高校D X 体験授業**で、専門知識や技術を身に付けてもらいたいと考えている。
- 2 現在考えていない。
- 3 企業版ふるさと納税で数社より寄附をいただいている。
- 4 **まずは興味を持つ生徒を増やしたい。**一定の技術が認められた場合、日本ドローンサッカー連盟主催の北海道大会を目標とする。



熊野 茂夫議員

町長は9月会議の所信表明において「**持続可能な“まち”**」を町民と共に創るため、選挙公約に掲げた6つの約束・政策を実践的かつスピード感を持って取り組んでまいります。と述べられました。

当町の人口は3,500人を下回りました。4年後には高齢化がさらに進み、町の規模も小さくなるなか、**町長はこの「持続可能な“まち”**」をどんな形でイメージし、町民に参画を求められるのか伺います。

動画は
こちら



行財政

住民
活動

問

持続可能な“まち”への
町民の参画は

答

自主的に様々な会議を通じて
直接対話すること

鳴海町長

人口の減少幅を緩やかにすることが、「持続可能な“まち”」に繋がると考えている。まちづくりの主役である町民が自主的にまちづくりに参画し、町民の代表である議会と推進役の行政が協働で作り上げる「まちづくり」をイメージしている。

町民の参画は、町政懇談会や様々な会議を通じて意見をいただき、町民の方々と直接対話することで思いや願いをくみ取れると信じて、日々町政と向き合っている。



動画は
こちら



産業

問

どすこい直売所の環境改善は

答

扇風機等の設置を検討中
改修・新設は難しい

杉村 志朗議員

今年の夏は圧倒的な異常気温となりました。どすこい直売所は**電気設備が整備されていないため扇風機なども使用できず、野菜の品質低下や従業員の体調も心配**です。

次の点について町長にお伺いいたします。

- 1 直売所の暑さ対策の必要性
- 2 施設の狭さに対する声を把握しているか
- 3 直売所の新設・改修を考えているか

鳴海町長

直売所の簡易店舗は、町が農業生産の向上等を目的に、町有林の間伐材で制作、設置したもので、農業協同組合が無償貸与を受け、管理・運営している。

- 1 **新年度、電気設備と併せて扇風機等の設置を検討している。**
- 2 そのような要望を伺っていない。
- 3 当初から簡易店舗として設置された経緯があり、現時点で改修・新設は難しい。



ドローンサッカーの様子



ボール状の専用ドローン



どすこい直売所

ドローンサッカーって？

ボール状の専用ドローンを使って5対5で戦う戦略型チームスポーツ。サッカーと似ていますが、ドローンを使うので子供から高齢者まで誰でも参加できます。

ドローンの操作技術向上も期待できます。

どすこい直売所って？

青函トンネル記念館駐車場に設置。毎年6月上旬から10月まで営業し、農協組合員が生産した新鮮な野菜を販売しています。

広さは約7畳（幅6m×奥行2m）で、扉が1つ、窓が3つあります。

人事院勧告に基づき 職員等の給料・期末手当を増額

定例会11月会議は11月27日に開会、議案6件、報告2件、発委1件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は2名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会

11月会議

条例の一部改正

特別職員給与条例の一部改正

人事院勧告に基づき、期末手当支給月数を0.10月引き上げ。

職員給与条例の一部改正

人事院勧告に基づき、次のとおり職員の給与を改定。

- 初任給の引き上げ
- 職員の給与を平均1.1%引き上げ
- 期末手当・勤勉手当の支給月数を0.05月ずつ引き上げ

補正予算

一般会計補正予算(第6号)

職員給与費

職員の給料、期末手当等を増額したため

238万9千円追加

単位：千円

会 計 名	補正額	補正後の 予算総額
一 般 会 計(第6号)	11,031	5,521,786
介護保険特別会計(第2号)	30	581,239
診療所特別会計(第3号)	▲1,355	112,682
水道事業会計(第2号)	5,043	232,266

生活館管理費

白符町内会館整備予定地の
国有地測量調査のため

387万円追加

水道事業会計補正予算(第2号)

配水・給水費

職員の給料、期末手当等の
増額、9月28日に発生した
日の出地区配水管の漏水修繕
等のため

504万3千円追加

専決処分

支払い督促の申立てに係る
訴えの結果

定例会6月会議で議決した
ふるさと暮らし応援条例によ
る助成金返還請求の申し立て
について、和解報告がありま
した。

議会からの提出議案

議会議員歳費・費用弁償等
条例の一部改正

特別職の期末手当支給月数
が引き上げられたため、議員
の期末手当も0.10月引上げ。
※議員の期末手当支給月数は
H28から特別職と同じ

地域商品券（第7弾）発行 町民1人あたり6,000円

定例会12月第2回会議は12月27日に開会、議案3件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付で休会しました。参画者は2名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会

12月第2回
会 議

単位：千円

役場庁舎の冷房設備整備について
質問・意見交換しました。

- ・災害時の避難所として必要
- ・職員等の体調管理に必要



区 分	総事業費
変更前	7,889,200
追 加	24,300
変 更	148,000
変更後	8,061,500

事業の追加や変更により、計画の一部を変更（消防署の冷房設備設置、地域経済緊急支援事業等）。

第5次総合計画の変更

計画の変更

- 生活支援ハウス改修事業費
冷房設備設置工事のため（入居者個室等）
4千950万円追加
- 広域事務組合費（衛生）
リサイクルプラザ修繕費の追加等により
488万4千円追加
- 地域経済緊急支援事業費
物価高騰対策として全町民へ地域商品券を発行するため
2千285万2千円追加
- 横綱記念館冷房設備設置事業費
冷房設備設置工事のため（稽古土俵、上り座敷）
1千300万円追加
- 広域事務組合費（消防）
消防庁舎の冷房設置に必要な調査・設計等のため
17万6千円追加

一般会計補正予算（第8号）

補正予算

単位：千円

会 計 名	補正額	補正後の 予算総額
一般会計（第8号）	104,705	5,747,975
介護保険特別会計 （第3号）	3,410	584,649

- 一般管理費
事務処理システム改修のため
341万円追加
- 介護保険特別会計補正予算
（第3号）

冷房設備の整備で
増える電気代につ
いて質問しました。



各議案の審議結果

12月会議採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議 案	議 員 名								審査結果
			藤山 大	杉村 志朗	佐藤 孝男	小鹿 昭義	平沼 昌平	木村 隆	熊野 茂夫	平野 隆雄	
11月会議 (11/27)	35	特別職職員給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	36	職員給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	37	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	38	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	39	令和5年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	40	令和5年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告4	専決処分した事件の報告(出産祝金返還請求の和解)	採決はありません								報告済
	報告5	専決処分した事件の報告(出産祝金返還請求の和解)									
	発委9	議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12月会議 (12/12)	41	浄化槽事業の設置等条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	42	選挙公報の発行条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	×	○	
	43	特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の運営基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	44	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	45	産業振興資金貸付条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	46	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
	47	定住向け町有住宅(2号棟)建築主体工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	48	令和5年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	49	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委10	刑事訴訟法の再審規程(再審法)の改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月第2回 会 議 (12/27)	50	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	△	原案 可決
	51	令和5年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	△	
	52	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	△	

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の11月から1月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	藤 山	杉 村	佐 藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	溝 部
11月18日	保育所おゆうぎ会	―	―	―	―	―	○	―	―	○
21日	経済福祉常任委員会（社会福祉協議会の運営状況、家庭ごみ減量化対策の進捗状況、浄化槽整備特別会計の公営会計への移行）	―	―	○	○	○	―	◎	○	○
22日	吉岡温泉上棟式	○	○	―	○	―	○	○	○	○
24日	経済福祉常任委員会（新吉岡温泉運営、種苗生産等施設管理）	◎	―	○	○	○	―	―	○	○
27日	議会運営委員会（11月会議の運営）	○	―	○	―	○	○	○	職	職
	定例会11月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（11月会議の反省）	○	―	○	―	○	○	○	職	職
	第6次総合計画策定調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28日～ 30日	町村議会議長会全国大会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
12月1日	渡島西部広域事務組合議会第3回定例会	―	―	○	―	―	○	―	―	○
2日	南北海道考古学情報交換会 in 福島	―	―	―	―	―	―	○	―	○
4日	議会基本条例諮問会議答申	―	―	―	―	―	―	―	―	○
	正副議長議案説明	―	―	―	―	―	―	―	○	○
	意見書手交（経済福祉常任委、第6次総合計画調査特別委員会）	―	―	○	―	―	―	―	○	○
5日	一般質問通告	○	○	―	―	―	―	○	―	職
	議会運営委員会（12月会議の運営）	○	―	○	―	×	○	○	職	職
8日	総務教育常任委員会（意見書、休会中の所管事務調査）	○	○	―	―	―	○	○	○	○
	議員勉強会	○	○	○	○	×	○	○	○	○
10日	考古学・歴史講演会	―	―	―	―	―	―	○	―	○
12日	定例会12月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（12月会議の反省）	○	―	○	―	○	○	○	職	職
16日	青少年の主張大会	―	―	○	○	○	―	―	―	○
27日	議会運営委員会（12月第2回会議の運営）	○	―	○	―	○	○	○	△	職
	定例会12月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	議会運営委員会（12月第2回会議の反省）	○	―	○	―	○	○	○	△	職
	渡島西部広域事務組合議会第2回臨時会	―	―	○	―	―	○	―	―	○
1月4日	福島消防団出初式	○	―	○	○	○	○	○	○	○
9日	新年交礼会	○	○	○	○	○	―	○	○	○
16日	渡島町村議会議長会役員会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
19日	渡島廃棄物処理広域連合議会 議会運営委員会	―	―	―	―	―	―	―	○	―
22日	議会運営委員会（議会だより）	○	―	○	―	○	○	○	職	職

第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート 中間報告

— 11月6日開催 —

詳しい資料は
こちら



地震における津波避難緊急事業

冬期間の対策だけではなく、**夜間に災害が起きた場合の対応、必要な備品、避難場所の有害鳥獣対策**も改めて検討されたい。



夜間に災害が起きた場合のLEDライト



町が開催した全町を対象とした防災訓練

青少年交流センター

ゼロカーボン・モビリティ導入事業

脱炭素を進めるため、青少年交流センターに太陽光パネル・EV車を導入するとのことだが、**ゼロカーボンに関連した町全体の事業計画の中で進めるべき。**

教育用コンピュータ等整備事業

現在使用しているタブレット端末は**破損・紛失等の対応について責任の所在がはっきりしていない。**機器更新計画を実施する際にその点を整理し賠償保険等を検討されたい。

青函トンネル記念館

屋外展示物解体撤去事業

老朽化に伴い撤去・解体予定とのことだが、当時の記録を伝える貴重な物であり、継続して展示していける方策を検討されたい。

第2青函トンネル構想実現に向けて構想等の展示を充実させ、**観光客に対し職員がガイドとして説明できるような研修等の体制**についても検討されたい。

【委員会意見中間報告】

SDGsへの考え方が6月に行った調査から後退していると感じる。町民に対し理解が進むようPRの方法について検討されたい。

政策等調書・総合計画事業進行管理表については、**事務全般について省力化することは、必須の課題**でもあり、引き続

き見直しに向けた検討を積極的に進められたい。

政策等調書の記載内容に統一性がなく適切でない点が多々あることと、過去の会議等での**答弁で6次計に載せるとしていた事業が、検討から漏れ登載されていないことを指摘しておく。**

第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート 最終報告

— 11月27日開催 —

青函トンネル記念館等 屋外展示物解体撤去事業

「くろしお号」は、当時の取り組みを伝える大変貴重なもので、協議を継続し、方向性を見出す努力を望む。



長年展示されているくろしお号



メモリアルパークの蓄電池機関車



青函トンネル記念館は、第2青函トンネル構想の実現を発信していくうえでも重要な施設。**屋内展示物を今のトンネル掘削技術等のPR展示に変えることも検討されたい。**

町民・職員が情報発信できるよう理解を深め、第2青函トンネルの必要性を感じてもらえる**取り組み**について検討されたい。



トンネル記念館正面、側面の看板



コミュニティ活動支援事業

事業内容の見直しなどの検討を行い、1町内会でも多く事業に参加してもらえよう努められたい。

コミュニティ活動支援事業って何？

町内会が自主的に活動できるように支援のこと。生涯学習機会（〇〇教室等）の確保や、町内会館の改修・整備などがあります。

【委員会総括意見】

総合計画を構成する基本構想・基本計画・実施計画について一通り調査をしたことから、本特別委員会の調査を今回で終了する。

これまで指摘しているが、実施計画の全体事業件数が96件あり、**全事業について、適否を判断するには、時間的に多少無理があった**と思慮する。

実施計画を議決する意義は、基本構想・

基本計画に基づく具体的な政策メニューの確認と財政見通しを見極めることにあり、実施計画全事業の執行（予算化）を容認するものではない。政策推進過程や予算計上の段階でさらに議論して決定するものである。

計画の各施策で定めた目標達成に向け、効果の検証と必要な改善に積極的に取り組み、適切な財政運営と関連する計画の確実な推進に努められることを強く期待する。

第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート 計画（案）に反映された議会の意見



◆基本構想（案）

- カタカナ用語が多いため、町民が理解しづらい言葉には解説を追加する等の工夫が必要。

→用語解説を追加。

- 福島町の強みに特産品として「スルメ、養殖アワビ、キタムラサキウニ etc.」とあるが、町の大きな産業である「養殖コンブ」も追加するべき。

→特産品に「養殖コンブ」を追加。

◆目標とする指標の数値・設定

- 資料の数値について、項目によりばらつきがあるので、統一するべき。

→令和4年度実績値で統一。

◆実施計画（案）

- トンネル記念館屋外展示物は当時の様子を伝える貴重なもので、協議を継続し、方向性を見出す努力を。

→今後の展示について協議を継続。

- トンネル記念館は 第2 青函トンネル構想実現にむけた情報発信の起点となる。展示の充実とガイドの育成が必要。

→情報発信を各担当課で連携して対応。観光客向け資料を作成し配布。

- 学校で使用しているタブレットについて管理責任の整理が必要。

→破損・紛失時のルールを整理。

- 青少年交流センターに太陽光パネル、電気自動車を導入するとのことだが、ゼロカーボンに関連した町全体の事業計画の中で進めるべき。

→令和6年度策定予定の脱炭素戦略計画（仮称）の中で調整。

- 夜間災害時の備えと、過去に熊の被害があった避難場所もあるため対策が必要。

→避難場所に懐中電灯などの夜間対策用品や、クマよけスプレーなどの熊対策用品を備蓄のほか、有害鳥獣への対策も検討。

- S D G s の町民理解に向けた周知が必要。

→令和6年の広報で特集記事を掲載予定。



11月に行った「8つの調査」を報告します

調査
事件
8

町立診療所の経営安定化

－令和5年11月16日調査－

町内の医療体制上 診療所の維持は重要

省力化と職員体勢見直しを

診療所の経営状況は、令和4年度の単年度収支は赤字、令和5年度上半期の利用者が令和4年度を下回る等、**未だ安定した経営とはなっていない。**

町内の医療体制を考慮すると、**町立診療所の維持は重要**であり、引き続き町と診療所で連携して来院者の増加に向けた対策を熟慮する必要があるが、今後の人口減少は明らかであり、町立診療所の安定運営のためには、**町内薬局を活用した医薬分業等省力化を検討し、医師を除いた職員体制を見直すべき**と思慮する。

調査
事件
6

国民健康保険事業の運営

－令和5年11月16日調査－

北海道統一保険税に向けた 税率改正の周知徹底を

町民へのわかりやすい周知を

令和6年度の税率改正について町広報等で周知するとしているが、**国保事業全般が町民に十分理解されていない**と感じている。昨年から進めている令和12年度の統一保険税に向けた税率の改正と、その**考え方(税率改正による町民負担を和らげるため基金を取り崩しながら進める)**をできるだけわかりやすい記事で周知するよう検討されたい。

国民健康保険事業基金

北海道統一保険税に向けた町の税率改正は、道の試算をもとに税の急な上昇を抑える形で決めており、道納付金で不足する部分は基金を取り崩して補填しているが、**道が示す税率とは開きがあり、統一後の国保会計の運営にも不安が残る**ので、税率改正・基金の取り崩しについての考え方を一度整理して慎重に対応する必要があると思慮する。



経済福祉常任委員会レポート

調査
事件
3

社会福祉協議会の 運営状況

－令和5年11月21日調査－

サービス維持のため 事業見直しと人員確保を

人員確保

法人運営事業は黒字となっているが、町から多額の支援を受けており、内訳が示されず要因が明確に説明されない状況は疑問が残る。

当初予算・健全化計画の算定も改めて検証し、**介護事業の改善を含めて事務局体制の強化を図るべき**と思慮する。過去に町から事務局長を派遣した経緯もあり、再度、職員派遣も検討されたい。

介護保険事業

介護保険事業も黒字だが、要因に職員の退職による人件費の減があり、法人の職員が兼務するなど**人手不足による状況は厳しく、サービスの低下が懸念される**。人材確保は困難だが、社会福祉協議会は町に必要な組織であり町も協力していく必要がある。

事業継続のため介護事業を限定（縮小）する検討も必要だが、町の福祉で介護サービスの維持は重要であり、まず、町が主導して**介護事業の状況を精査し、町と町内事業所が実情（人材確保・介護対象者減少等）を共通認識し、今後の介護サービスの維持について協議する必要がある**。

調査
事件
10

有害鳥獣減容化処理 施設の管理

－令和5年11月16日調査－

管理体制等の整理 広域運営は慎重な協議を

町外からの処理受入

他町からの処理受入について、処理料を検討する際は、**初期投資した当町の負担が過大にならないよう適正な額で算定されたい**。

持ち込まれた個体の捕獲データ等について、町外からの個体は、受け入れの際にデータの提出・確認を規定するなど、適正な管理方法を検討されたい。

渡島西部四町での運営

将来的に渡島西部四町での施設運営を想定し各町と協議をしているとのことだが、各町で捕獲後の処理に対する考え方や処理状況等には違いがあり、移行には時間がかかることが想定される。施設の許容量超えが見込まれ、**設備の増設を検討する際には当町の負担が発生しないよう慎重に協議を進める必要がある**。

管理条例（案）の見直し

農業被害だけでなく森林業についても加えるべき。

損害賠償について使用者と定義しているが、基本的に使用者が減容設備を直接操作することは想定されていないことから、修正すべき。

受け入れ時間を正午までとしているが、冷凍庫での保管も可能なので受入時間について再考すべき。

経済福祉常任委員会レポート

調査
事件
5

浄化槽整備特別会計の 公営企業会計への移行

－令和5年11月21日調査－

町民へわかりやすい周知を

町民への周知

移行に係る経緯等は町広報等で町民に分かりやすく周知することを望む。

今後も浄化槽の普及活動により一層力を入れる必要があると思慮するので検討されたい。



読めば読むほど
詳しくなれる！

するめコラム⑩

ごみ袋代だけじゃない！

福島町は渡島管内で

1人当たりの
ごみ処理負担額が一番高い

状態が続いています。

Q. 具体的にいくらなの？

A. R4年度年間1人あたり19,004円
(町全体で6,678万円)

※R3年度年間1人あたり17,655円
(町全体で6,703万円)

ごみの処理に多くの税金が使われています。ごみを減らすことは税金をより有効に活用することにもつながります。

調査
事件
4

家庭ごみ減量化対策の 進捗状況

－令和5年11月21日調査－

分別の実態調査と 町民への意識付けが必要

町民への周知

人口1人当たりの負担金が渡島管内で1番高く、**町民へのごみ減量化に対する意識付けが進んでいないことは明白。**意識付けを進めるには、分別の実情等を精査し、早急に町としての減量化手法を計画し、各分野・町民が協働する取り組みを検討されたい。

令和5年度から電動生ごみ処理機購入への補助金を拡充しているが、町内に販売店舗がないため補助実績がない。普及を進めるために町民の目につく所への処理機設置や、モニター依頼等の手法も検討されたい。



広域的な取り組み

渡島西部四町が連携してごみの減量化に向けた検討を行っているとのことだが、各町の状況や取組の内容が異なるため、生ごみ・資源ごみの**分別徹底と燃えるごみの分析が減量化に向けた第一歩**と思慮するので検討されたい。

経済福祉常任委員会レポート

調査
事件
9

種苗生産等施設の管理

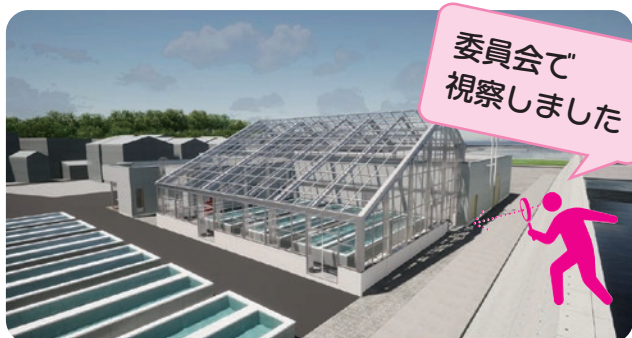
－令和5年11月24日調査－

効率的な施設運用で 経費節減を

種苗生産等施設の管理

新施設の管理は、現施設と同じく福島吉岡漁業協同組合へ委託し、**施設が集約されることで経費節減が見込まれる**としているが、町の補助金支援も継続するとしており、組合にはより一層の経費節減を期待する。

組合員から過去に施設修繕の際、費用の一部を負担した経緯から、新たに負担が求められるのではとの声もあり、組合員の不安解消のため、**組合が管理運営内容等について周知徹底するよう協議されたい。**



種苗生産等施設完成予想図



新たな吉岡温泉完成予想図

調査
事件
7

新たな吉岡温泉の運営

－令和5年11月24日調査－

定期的な情報共有で 臨機応変な対応を

新たな温泉の営業

新施設の変更点として**営業時間の変更を予定しているが**、繁忙期、閑散期を含めた年間データをもとに指定管理者と協議し、**必要に応じた柔軟な対応**も検討されたい。

木質バイオマスボイラー用 木質チップの取扱い

ボイラーの燃料となる木質チップは、**地元業者の生産体制が整うまで知内町森林組合から購入としているが**、供給量・単価等、心配な点も多く、来年に向け万全を期すことを望む。

町内業者の生産体制は、財源確保の関係からオープンに間に合わないことは理解しているが、**令和7年度中には町内で製造・供給が出来るよう万全の対応を取られたい。**

新施設供用開始・現施設の閉館

新施設への源泉切替、営業準備のための**閉館期間を1か月程度としているが、なるべく閉館期間を短縮するよう努められたい。**

源泉は掘削から30年近く経過し、揚湯量の低下等が心配される。温泉を長く運営していくためにも、**源泉の状況を把握し営業に支障がないよう慎重な管理を望む。**



話したいことや聞きたいこと、あなたの声を届けてみませんか

町民と議員との懇談会

2月2日(金)～13日(火)の内6日間で開催 各日午後6時から

町民と議員との懇談会を開催します。

福島町議会では、わかりやすく町民が参加する議会をめざして年に1回懇談会を開催しています。

全議員が3班に分かれて各町内会をおたずねします。身近なこと、ちょっとしたことでも構いません。気軽に議員とお話してみませんか？

開催日		2日(金)	5日(月)	6日(火)	7日(水)	9日(金)	13日(火)
A 藤山 小鹿 溝部	対象地区	松吉 浦野	吉岡1・2 吉岡 3	日向1 日向2 日向3	月崎2	白溝 符部	三岳1
	会場	松浦・吉野 町内会館	吉岡総合 センター	日 向 町内会館	月 崎 2 町内会館	新栄町 藤山、小鹿	三岳1 町内会館
B 佐藤 杉村 熊野	対象地区	館崎1 館崎2・3	緑 町	吉田町 館 古	丸 山	白 符	三岳2
	会場	吉岡総合 センター	緑 町 母と子の家	役 場	丸 山 コミュニティセンター	役 場	三岳2 町内会館
C 沼村 平野 平	対象地区	豊宮 浜歌	上本町 川原町	月崎1	塩釜 浦和部	新栄町	千 軒
	会場	宮歌・豊浜 町内会館	役 場	月 崎 1 町内会館	塩 釜 町内会館	新栄町 集会所	千軒活性化 センター

議会諮問会議より答申

詳しい資料は
議会HP



令和5年5月15日付で議長から諮問された事項について、3回の会議を経て12月4日に極壇会長から溝部議長へ答申書が手交されました。答申書の内容は次のとおりです。（内容は要約しています。）



極壇会長から答申を受ける溝部議長

◆ 調査審議を求める事項

◆ 議会評価（令和4年度分）の検討

適正であると考えているが、「各種団体との懇談会の開催」は、**議会から各団体へ声をかけ積極的に開催されるよう望む。**

◆ 議会基本条例全体の検討

全28条の条例について、議会運営委員会で検討した内容に疑義はなく、見直しの方向を「現状維持」としたことは問題ないとする。

◇ 確認を求める事項

◇ 議会基本条例見直しに伴う

行動計画進行管理（令和4年度）

◇ 議会基本条例見直しに伴う行動計画の確認（改選後）

令和4年度取り組み状況、改選後に策定した令和5年度以降の行動計画ともに適正であり問題ないとする。

◇ 議会基本条例見直しに伴う

現状にあった標準額として適正であり問題ないとする。

◇ 常任委員会所管事務調査の確認

- ・ 松前半島道路実現に向けた取り組み状況
 - ・ 有害鳥獣減容化処理施設整備
- 調査内容の説明を受け、諮問会議として常任委員会の所管事務の進め方について確認した。

夜間議会を開催します

3月8日(金)

午後6時から

議場（役場3階）

※エレベーターあります

今年も定例会3月会議初日に夜間議会を開催します。

内容は「一般質問」です。

（議員が町長、教育長に意見や質問をします）

詳しくは3月にチラシを配布予定です。

日中は来られないという方も、この機会に議場へ来てみませんか？

「何をみれば町の政策がわかるか」

—議会基本条例諮問会議顧問 ^{かんばら}神原 ^{まさる}勝氏 寄稿文—



議会基本条例諮問会議
顧問 神原 勝氏
(北大名誉教授)

「政策」といえばむずかしく聞こえますが、要は、現在および将来の町と住民のために町が公費を投じて行なう事業のことです。では住民は何をみればその事業の種類や内容がわかるか。おそらく多くの人は予算書をあげるでしょう。どんな事業の実施にもお金の支出がともないますから、予算書をみれば毎年度実施する事業がわかるはずです。

ところがすべての自治体で予算書をみれば事業がわかるとはかぎりません。何にお金を使うか大まかな政策分野（保健衛生費、母子保健費など）ごとの総経費を示すだけで具体的な事業（乳幼児育成事業、離乳食講習会費など）を記載しない予算書も多数あります。それは地方自治法によって事業名まで明示しなくてよいことになっているからです。

けれども住民の福利のために使われる予算の内容が、住民はもとより予算を審議し議決する議会にも示されないでは話になりません。そこで、自治体のなかには、予算書の備考欄に実施する事業名と必要経費を書く工夫をこらしているところもあります。これを「事業別予算」といいますが、福島町の予算書はまさにこの事業別予算になっています。

次に政策がわかるのが総合計画です。福島町は総合計画条例を制定して、計画にもとづく予算の原則（総合計画にない事業は予算化しない）を実行している数少ない自治体の一つです。そして総合計画の内容の一部を変更したり、新規事業を追加する必要が生じたと

きは、計画の変更を議会で議決し、その内容を「議会だより」で住民に周知しています。

三番目に町の政策がわかる資料として、行政が作成する行政評価書（政策評価書・事業評価書ともいう）があります。福島町は毎年度の予算で200前後の事業を行い、このうち10前後が新規の事業です。この新規の事業については、「政策等調書・総合計画事業進管理表」を作成し、事業ごとにその内容、決定過程、財源構成などを詳しく公表しています。

総合計画は町の将来を予測して行なう事業の一覧、その事業を着実に実行するのが年度の予算、そしてその成果を点検して次の課題につなげていくのが事業評価です。だから町がしっかりした政策を展開するためには、予算書、計画書、評価書の3つをたがいに関係づけた政策資料を作成・公開し、住民、議会、行政が共有しなければなりません。

福島町はこれまで議会の高い問題意識とそれに向きあう行政の努力が功を奏して、そのことが相当程度実現できていると私は評価しています。事業別予算は議会基本条例にもとづいて実行され、また総合計画条例も議会主導で実現したものです。事業評価についても行政による評価をふまえて議会は独自の改善意見を提出して行政に反映させています。

理想をいえば、計画書、予算書、評価書に示される事業に統一した番号を付して政策の一望性をいっそう高めてほしいと思っています。私は札幌市民ですが、予算は事業別予算になっていませんし、総合計画や行政評価とも連結していません。それを実現した自治体はわが国にはまだありませんが、福島町はそれを実現できる最短距離にいると思います。

このような政策のシクミのもとでは、政策はわかりやすくなって住民は意見を述べやすくなります。行政による政策の説明あるいは職員の異動にともなう事務引継ぎも簡略・正確になり、議会の計画・予算・決算をはじめとする政策審議も住民にわかりやすく実効性がいっそう高くなります。住民目線で改革の努力を厭わない福島町議会に今後も期待します。

渡島檜山管内市町議会議員研修会 レポート

— 10月16日北斗市 —

渡島檜山管内市町議会議員研修会が北斗市北斗市総合文化センター「かなで〜る」で開催され、議員8名が参加しました。

渡島檜山管内から町村議会議員など関係者が多数集まり、講師2名の講演による研修をしました。



開会のあいさつ



講演前に資料を確認する議員

講演 1

「地方議会とハラスメント」

講師 朝日新聞社東京本社
ネットワーク報道本部

次長 三 島 あずさ 氏

日本のジェンダー問題は、独身や家事育児を妻に任せきりの男性が基本の雇用形態など構造的な社会問題。現代は多様性の社会であり、男女不平等が残る地域・組織は生き残れない。

議会は古い価値観が多く残っているため、新しい人（特に女性）が入りにくく、体制や価値観が変わらない悪循環が起きている。

地方議会の良い点はスピード感。まずは自分たちの議会から見直すことが大切。

講演 2

「ゼロカーボン北海道について」

講師 北海道経済部資源エネルギー局長
兼ゼロカーボン推進局風力担当

局長 西 岡 孝一郎 氏

ゼロカーボン北海道とは、単に脱炭素を進めるのではなく、取組みを通じて経済と環境の好循環を目指すもの。

市町村の脱炭素の目的は、脱炭素化を地域の活性化に繋げることにある。

地域資源を活用した再生可能エネルギーの使用で、地域内の消費・雇用が生まれることが期待される。

再生エネルギーに関して渡島檜山管内にも関連する話題として、洋上風力発電の候補地として檜山沖・松前沖が挙げられている。

渡島西部四町議会議員連絡協議会 研修視察レポート

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修
に当町から藤山議員、佐藤議員、小鹿議員が
参加しました。

— 10月18日 栃木県宇都宮市 —

— 19日 栃木県 鹿沼市 —

— 20日 福島県いわき市 —



震度2～7までの揺れを体験（栃木県防災館）

18日(水) 栃木県宇都宮市

栃木県防災館 「防災対策施設見学」

火災による煙、暴風による風圧、地震による揺れを体験し、脅威を実感しました。

災害直後は公助の活動に限界があり、自助と共助の防災活動が重要であると説明を受けました。



鹿沼市は全国有数のいちご産地（鹿沼市役所）

19日(木) 栃木県鹿沼市

鹿沼市役所 「自主防災組織強化対策」

鹿沼市では自治会長が防災会長を務める自主防災会、消防団を中核とした地域防災強化の推進等の取組みについて視察しました。高齢化やなり手不足といった課題はあるが、誰一人取り残さない取組みには「共助」が必要との説明でした。



取組みの説明を受ける議員（いわき振興局）

20日(金) 福島県いわき市

いわき地方振興局 「防災対策への取り組み」

東日本大震災による被害や復興、避難者受入の他、地域の防災力として災害時の被害を最小限に抑える重要な役割として「自助」「共助」「公助」各分野の対策について丁寧に説明を受けました。

町民の声

福島町デマンドバス



山崎ハイヤー社長
山崎 元

福島町デマンドバスは、平成26年の運行開始から今年で9年目になります。最初は中々利用者が増えなかったのですが、今では沢山の町民の方が利用しています。

利用するには電話予約が必要なので、最初は敬遠する方が多いと思いますが、慣れてしまえば便利で運賃も安く、とても良い交通手段だと思います。

電話で行きたい場所、希望の時間等を伝えてもらえれば、配車係が運行便をご案内します。ただし、乗合バスですので、混んでいて乗ることができない場合や、日によって運行時間の変更になることがあります。

それでも、乗合バスならではの出会いなど、楽しいことがあるかもしれません。

議員の雑感

三十年余りの議会人として



総務教育常任委員
杉村 志朗

初議会とは、改選後、議長、副議長の選挙と議席の指定、常任委員会の選任などを決める議会のこと。私は平成十五年九月、初議会の朝七時に松前警察署に連行されました。罪名は車庫飛ばしと言う事で十日間の留置場生活でした。自分の立場が有利になる者の密告によるもので、判決は無罪でした。

令和五年の初議会で、若い議員に議長をやりたいと頼まれましたが断りました。現議員の中で二番目に古い古参ですが四町広域議会での議席も奪われました。自分の身の程も知らない卑劣な考えの議員は議会人としての資格もなく最低の屑だと思えます。三十年余りの議員生活も今期で勇退するつもりですが、最後に長期政権は町の発展を衰退させると多くの町民が言っております。

主な会議・行事予定

2月

● 町民と議員の懇談会

2日(金)～13日(火) 午後6時～ 各町内会館等

● 経済福祉常任委員会

6日(火) 午前10時～ 議会議場

● 西部四町議員協議会総会・研修会

8日(木) 知内町

● 議会運営委員会(2月会議の運営)

14日(水) 午前9時20分～ 委員会室

● 定例会2月会議

14日(水) 午前10時～ 議会議場

● 総務教育常任委員会

14日(水) 午後1時～ 議会議場

● 経済福祉常任委員会

16日(金) 午前10時～ 議会議場

3月

● 一般質問通告

1日(金) 午前10時～午後2時

● 議会運営委員会(3月会議の運営)

1日(金) 午後3時～ 委員会室

● 議員勉強会

4日(月) 午後1時30分～

● 定例会3月会議

8日(金)～18日(月) 午前10時～ 議員控室

● 夜間議会(一般質問)

8日(金) 午後6時～ 議会議場

● 議会議場

編集後記

早いもので、年が明けてから1か月が過ぎましたが、寒い日が続いています。

議会だよりの編集では「むずかしい」「わかりにくい」と思われがちな議会の活動を、読みやすく、わかりやすく、親しみを持てるような記事づくりを心がけていますが、「これで伝わるだろうか」といつも悩みます。

一方的な情報発信ではなく、「興味を持てる」「伝わる」議会だよりを目指してこれからも工夫を重ねながらお届けしてまいります。

風邪などひかないよう、暖かくしてお過ごしください。

6月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会3月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」